

平成 26 年 度

小学校教員資格認定試験

教職に関する科目 (Ⅱ)

家 庭

注 意 事 項

受験者は、下記注意事項によること。それ以外の注意事項は試験実施大学の指示によること。

1. 試験監督者の「始め。」の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 実施大学名、氏名、受験番号、受験科目を平成 26 年度「幼稚園・小学校教員資格認定試験 解答カード」(以下、「解答カード」という。)の指定された欄に必ず記入してください。
3. 受験番号、受験科目をマークしてください。
ただし、受験科目のマークについては、小学校の欄にマークしてください。
4. 解答カードの中で特に受験番号、受験科目の欄の記入及びマークを間違えると失格になるので注意してください。
5. 解答は、すべて解答カードの解答欄にマークで記入してください。問題冊子に答えを書いても無効です。
6. マークは必ず鉛筆を使用して、枠内にきちんと記入してください。
訂正する時は、消しゴムで完全に消してください。また、解答カードを曲げたり折ったりしてはいけません。
解答カードが汚れた場合や折れてしまった場合は、試験監督者に解答カードの交換を申し出てください。
7. この試験の解答時間は、「始め。」の合図があつてから 50 分です。
8. 試験が終わるまで退室できません。 [マーク例]
9. 試験監督者の「やめ。」の合図があつたら、直ちにやめてください。 (よい例) ●
10. 下書きには問題冊子の余白を使用してください。
11. 試験終了後、問題冊子を持ち帰ってもかまいません。 (悪い例) ⊗ ⊗ ⊕ ⊕

問 1 次の文は、『小学校学習指導要領解説 家庭編』(平成 20 年 8 月)の「第 1 章 総説 3 家庭科改訂の要点」について述べたものである。〔(1) 目標について〕の記述として正しいものを、下のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア これまでの「衣食住などに関する実践的・体験的な活動」を、「衣食住などに関する理論的な内容」とした。

イ これまでの「日常生活に必要な基礎的な知識と技能を身に付ける」を、「現代の生活に対応する知識と技能を身に付ける」とした。

ウ これまでの「家庭生活への関心を高める」を、「家庭生活を大切にすることをはぐくみ」とした。

エ これまでの「家族の一員として生活を工夫しようとする実践的な態度」を、「家族の一員として生活を改善する実践的な態度」とした。

問 2 次の文は、『小学校学習指導要領解説 家庭編』(平成 20 年 8 月)の「第 1 章 総説 3 家庭科改訂の要点」について述べたものである。〔(2) 内容について〕の記述として正しいものを、下のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 中学校技術・家庭科の内容との系統性や連続性を重視し、内容構成を同一の枠組みとした。

イ 家族・家庭に関する教育の充実を図る観点から、自分の成長と家族、幼児の生活と家族の内容を加えた。

ウ 主体的に生きる消費者をはぐくむ視点を重視し、家庭の経済生活、契約、消費者信用などについて理解させることとした。

エ 学習の見通しを立てさせるため、ガイダンス的な内容を、第 5 学年、第 6 学年の最初に履修させることとした。

問 3 次の文は、『小学校学習指導要領解説 家庭編』(平成 20 年 8 月)の「第 2 章 家庭科の目標及び内容 第 3 節 家庭科の内容 B 日常の食事と調理の基礎」について述べたものである。
〔2〕 栄養を考えた食事の指導内容及び指導上の配慮事項として正しいものを、下のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 食品に含まれる五大栄養素は、相互に関連をもちながら健康の保持や成長のために役立っていることなどが分かるようにする。
- イ 食品は主に含まれる栄養素により 2 つのグループに分けることができ、食品を組み合わせるとる必要があることが分かるようにする。
- ウ ビタミンの種類や働き、また食物繊維や水の必要性などに触れ、体に必要な栄養の特徴を考えることができるようにする。
- エ 児童の家庭の実態に応じて、高齢者や幼児などの家族の 1 日分の献立を考えることができるようにする。

問 4 次の文は、『小学校学習指導要領解説 家庭編』(平成 20 年 8 月)の「第 2 章 家庭科の目標及び内容 第 3 節 家庭科の内容 B 日常の食事と調理の基礎」について述べたものである。
〔3〕 調理の基礎の指導内容及び指導上の配慮事項として正しいものを、下のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 調理では、ゆでたり、いためたり、揚げたり、蒸したりする加熱操作を繰り返し学習できるような題材を工夫すること。
- イ 調理に用いる食品については、新鮮な野菜、生の魚や肉などを用い、安全・衛生に充分留意すること。
- ウ 米飯及びみそ汁の調理ができること。米飯やみそ汁が我が国の伝統的な日常食であることにも触れること。
- エ 調理における皮をむく操作では、包丁が危険を伴うことから安全性を考慮し皮むき器を用いること。

問 5 次の文は、『小学校学習指導要領解説 家庭編』(平成 20 年 8 月)の「第 2 章 家庭科の目標及び内容 第 3 節 家庭科の内容 C 快適な衣服と住まい」について述べたものである。〔1〕衣服の着用と手入れの指導内容及び指導上の配慮事項として正しいものを、下のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 衣服の働きでは、社会生活上の働きとして職業を表したり、喜びや悲しみの気持ちを表現したりすることなどについて分かるようにする。

イ 洗濯の必要性や日常着の洗濯に必要な洗剤、用具、洗い方などが分かり、洗濯ができるようにする。

ウ 洗剤の働きが分かるとともに、身近な環境への影響を考えた洗剤の量などを考えさせるようにする。

エ 湿式洗濯(ランドリー)と乾式洗濯(ドライクリーニング)の特徴を科学的に理解させ、衣類の組成表示や取り扱い絵表示などに基づき、適した洗濯ができるようにする。

問 6 次の文は、『小学校学習指導要領解説 家庭編』(平成 20 年 8 月)の「第 2 章 家庭科の目標及び内容 第 3 節 家庭科の内容 C 快適な衣服と住まい」について述べたものである。〔3〕生活に役立つ物の製作の指導内容及び指導上の配慮事項として正しいものを、下のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア ミシンを用いた直線縫い並びに曲線縫いにより、日常生活で活用できる物を製作できるようにする。

イ 製作に必要な針類、はさみ類、アイロン、ミシンなどの用具は危険を伴うことから、指導者が準備から後始末まで行うようにする。

ウ 縫う経験が少ない児童の実態に応じて様々な縫い方を身に付けさせるため、細かな技法を中心に指導し、縫い方の工夫に気付かせるようにする。

エ 身近にある衣服や布製の小物などを観察して、児童自身が縫い方の工夫などに気付くようにする。

問 7 次の文は、『小学校学習指導要領解説 家庭編』(平成 20 年 8 月)の「第 2 章 家庭科の目標及び内容 第 3 節 家庭科の内容 C 快適な衣服と住まい」について述べたものである。「(2) 快適な住まい方」の指導内容及び指導上の配慮事項として正しいものを、下のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 季節の変化に合わせた快適な住まい方では、暖かさ、風通し、明るさの中から児童の課題を選択して学習させること。

イ 学習の展開に当たっては、理科における空気と温度に関する学習内容や、体育科の健康による生活に関する学習内容との関連を図るように配慮すること。

ウ 日常の住まい方への関心を高めるために、住居の平面図やインテリアデザインなどを学習させること。

エ 家庭によって整理・整頓とんや清掃の仕方が異なることから、各家庭での整理・整頓とんや清掃の仕方については扱わないこと。

問 8 次の文は、『小学校学習指導要領解説 家庭編』(平成 20 年 8 月)の「第 3 章 指導計画の作成と内容の取扱い」の「1 指導計画作成上の配慮事項」について述べたものである。内容の記述として正しいものを、下のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 2 学年にわたって学習する内容「A 家庭生活と家族」から「D 身近な消費生活と環境」については、指導の順序を示しており、四つの内容をそれぞれ指導すること。

イ 調理や製作の題材については、児童に高い目標を持たせ努力させることが重要であることから、難しいもの、複合的なものから配列するよう計画する。

ウ 年間標準授業時数は、第 5 学年は 90 単位時間、第 6 学年は 35 単位時間と定められていることを考慮し、各題材に適切な時間を配分する。

エ 道徳教育は学校の教育活動全体を通じて行うものであることから、家庭科の学習においても、家庭科の目標と道徳教育との関連を明確に意識しながら、適切な指導を行う必要がある。

問 9 次の文は、『小学校学習指導要領解説 家庭編』(平成 20 年 8 月)の「第 2 章 家庭科の目標及び内容 第 3 節 家庭科の内容 A 家庭生活と家族」について述べたものである。(1)から(4)の指導内容及び指導上の配慮事項のうち、正誤(○×)の組合せとして正しいものを、下表のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- (1) 「家庭生活と家族」の学習内容は、「自分の成長と家族」、「家庭生活と仕事」、「家族や近隣の人々とのかかわり」の 3 項目で構成されている。
- (2) 家庭には自分や家族の生活を支える仕事があることが分かり、自分の分担する仕事ができること。
- (3) 幼児の生活について、幼児の観察を行うとともに遊び道具を製作するなど、幼児の遊びの意義を理解する。
- (4) 家庭生活が、家族の協力だけではなく、近隣の人々とのかかわりで成り立っていることやかかわりの大切さが分かるようにする。

	(1)	(2)	(3)	(4)
ア	×	×	○	○
イ	○	×	○	×
ウ	○	○	×	○
エ	×	○	×	○

問10 次の文は、『小学校学習指導要領解説 家庭編』(平成 20 年 8 月)の「第 2 章 家庭科の目標及び内容 第 3 節 家庭科の内容 D 身近な消費生活と環境」について述べたものである。[(1) 物や金銭の使い方と買物]について指導内容及び指導方法として正しいものを、下のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 家族の生活にかかわるお金について考えさせ、家計の構造や金銭の大切さに気付かせる。
- イ 身近な物の選び方、買い方については児童が使う身近な物について取り上げ、購入する時は、店の人から話を聞いたり、広告などを活用したりして整理し、選び方についてよく考えさせる。
- ウ 買物の学習では、実際に物を選んだり買ったりする学習よりインターネットを利用した体験学習が効果的である。
- エ 消費生活センターなどの各種相談機関やクーリング・オフ制度を取り上げ、消費者としての意識を高める指導が大切である。

問11 次の文は、1951年5月5日に制定された児童憲章の前文である。(①)から(⑤)に入る語句の組合せとして正しいものを、下のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

われらは、日本国憲法の(①)にしたがい、児童に対する正しい(②)を確立し、すべての児童の(③)をはかるために、この憲章を定める。

児童は、人として尊ばれる。

児童は、(④)の一員として重んぜられる。

児童は、よい(⑤)のなかで育てられる。

	①	②	③	④	⑤
ア	精神	概念	健康	家庭	地域
イ	信念	観念	健康	社会	環境
ウ	精神	観念	幸福	社会	環境
エ	信念	概念	幸福	家庭	地域

問12 食品に含まれる栄養素に関する記述として誤っているものを、下のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア ビタミンは、食品に含まれる量は少ないが、体の調子を整える重要な働きをしている。

イ たんぱく質は、消化管でアミノ酸に分解されて吸収され、筋肉や臓器、血液や皮膚など体の組織の大部分を構成する成分である。

ウ 無機質は、食品に含まれる量は少ないが、体の組織をつくったり、体の調子を整えたりするなど重要な働きをしている。

エ 炭水化物は、体内で分解され主にエネルギー源になるとともに、骨や歯などを構成する成分でもある。

問13 調理器具や用具の扱い方に関する記述として正しいものを、下のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 湯をわかす場合は、ガスこんろの点火つまみをいっぱい回し、火がついたことを確かめた後、水を入れたやかんをガスこんろにかけるよう指導する。

イ まな板の取り扱い方では、食品の色素や臭いがまな板に付きにくくなるよう、水でぬらし水気を拭き取って使うよう指導する。

ウ 包丁の取り扱い方では、柄をしっかりとぎるか、人さし指をみねにそわせて持ち、材料を押しさえる手の指先は伸ばすよう指導する。

エ 計量スプーンで粉類を計る場合は、粉類をしっかりとスプーンに押し込み、すり切りべらですり切るよう指導する。

問14 米飯の調理に関する記述として正しいものを、下のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 米や水の計量には重量と体積を用いる場合がある。体積を用いる場合、炊飯で多く使われる一合は200 mLであり、調理用の計量カップと同じ体積となっている。

イ 水洗いは、米の表面に付いているぬかやごみを除くためであり、7回、8回は水を取り替えゆっくり時間をかけて洗う。

ウ 水の量は、米の種類、乾燥状態、新古米また好みなどにより異なるが、米の重量、体積ともに1.5倍程度が標準とされている。

エ 米は水につけておくと、徐々に吸水、膨潤し、加熱時のでんぷんの糊化がよく行われる。つけておく時間は30分以上が好ましい。

問15 繊維の主な性質や用途について正しいものを、下のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 綿は、吸水性・吸湿性が高く、肌ざわりがよい。しわになりやすく手洗いや洗濯機洗いなどの家庭洗濯には適さない。

イ 絹は、光沢があり、しなやかな感触を持つ。吸湿性が大きい。ブラウス、ネクタイ、和服などに用いられる。

ウ 毛は、伸びやすく、しわになりにくい。保温性が大きい。ワイシャツ、ブラウス、水着などに用いられる。

エ ポリエステルは、熱に強い。しわになりやすく手洗いや洗濯機洗いなどの家庭洗濯には適さない。セーター、毛布などに用いられている。

問16 布を用いて作品を製作する場合の留意点として正しいものを、下のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 手縫いでは、なみ縫い、本返し縫い、半返し縫い、かがり縫いを学習するが、丈夫な縫い方として、なみ縫いを指導する。

イ まち針は、和裁用のまち針を使い、縫い目線に沿って布の中心から留めるように指導する。

ウ ミシン縫いで布がずれないようにしつけをかける場合は、できあがり線に重ならないように指導する。

エ 布を縫うときは、糸が抜けないう縫い始めに玉留めを、縫い目がほどけないように縫い終わりに玉結びを行うことを指導する。

問17 次の文は、住まいの通風・換気に関する記述である。(①)から(④)に入る語句の組合せとして最も適切なものを、下のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

日本では昔から(①)の気候に合わせて、通風の良い住まいが作られてきた。しかし、現代は、(②)を目指した住まいが増え、冷暖房機器の普及で外気の影響を受けない室内環境を作るようになった。

そのような住まいは、換気が不十分になりやすいため、室内の空気は気付かないうちに汚れていき、重大な(③)が生じる場合もある。特に冬の寒い時期などは(④)を生じやすく、かびの発生やダニの繁殖、建材の腐食などの原因にもなる。これらを防ぐためにも、住んでいる人が適切に窓を開けるなどして、換気する必要がある。

	①	②	③	④
ア	高温多湿	高气密・高断熱	健康被害	結露
イ	地域	高气密・高断熱	機能障害	結露
ウ	高温多湿	安心・安全	機能障害	高湿度
エ	地域	安心・安全	健康被害	高湿度

問18 JISの住宅の照度基準による子供部屋での勉強・読書に適した照度として最も適切なものを、下のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 30 から 75 ルクス
- イ 50 から 100 ルクス
- ウ 200 から 500 ルクス
- エ 500 から 1000 ルクス

問19 次の文は、我が国の環境問題の動きに関する記述である。(①)から(⑤)に入る語句の組合せとして正しいものを、下のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

大量生産、大量消費、(①)型の社会を根本から見直して(②)を構築する動きが加速している。廃棄物の発生を抑制する(③)、再使用するリユース、再生利用するリサイクルなどにより、資源の循環を図り、持続可能な社会を実現する試みである。資源の乏しい我が国において、(④)の有効活用は経済活動にとっても重要で、(⑤)への負荷削減にもつながる。現在、各種のリサイクル法が制定され、生産者と消費者、行政がそれぞれ負担を分担するシステムが確立されつつ、ゴミの減量化、資源の再利用化が進んでいる。

	①	②	③	④	⑤
ア	大量利用	環境重視社会	リデュース	生產品	地球環境
イ	大量廃棄	循環型社会	リデュース	廃棄物	地球環境
ウ	大量利用	循環型社会	リフューズ	生產品	生活環境
エ	大量廃棄	環境重視社会	リフューズ	廃棄物	生活環境

問20 現金以外で支払いに使用できるカードに関する記述として正しいものを、下のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア プリペイド型の電子マネーカードは、あらかじめ代金を先払いしてカードを買い、使うたびに残額が減っていくもので、追加して入金ができない。
- イ クレジットカードは、ICチップが入ったカードにあらかじめ入金し、残額が少なくなったら追加して入金することもできる。
- ウ デビットカードは、銀行のキャッシュカードを提示し、暗証番号を入力して使用するもので、預金の残額内で支払いができる。
- エ プリペイドカードは、契約した会社が商品の代金を立て替えて、消費者は後払いするので、発行には所得などの審査が必要であり、18歳未満は自分のカードを作成することができない。